

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第二十一号

平成二十五年十一月二十八日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に

関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

### 「通学風景」

7月半ば午前8時少し前、小学生たちが学校へ向かう。桜山を背に、田越川沿いの葉桜並木を右に見ながら、仲町橋を渡り、路地を抜ければ、目の前が学校だ。



「桜の木のある通学路 11月」 永橋為成

もうすぐ夏休み。そして日一日と褐色の濃度を増す秋、落葉樹が裸になり渡り鳥が水辺で餌を捜す冬、桜満開爛漫の春。子供たちはその直感力で、季節の移ろいを感じていくことだろう。自然風土と町並みと子供たちの織り成す風景が、私の心に響き、想像力をかきたてる。

子供たちが成長し大人になった時、この通学路を、自然風土や町並みを思い出すだろうか。大切な時に、何かの折に、きっと思い出すに違いない。いずれ彼らは世界に羽ばたき、それぞれの分野で活躍することだろう。その活動のエネルギーの源に故郷（ふるさと）の自然風土や景観がある、ということに、彼ら自身が気付くことは、そう遠い先のことではあるまい。

「次代を育むとは、イイ景観を保全したり、創っていくことではないのか。」こう感ずるのは一人の単なる感傷だろうか。

そんなことを考えつつ通学風景のスケッチを描いていると、一人の女の子に鋭い目つきでらみつけれられた。変なオジサン”として、警官（景観）のお世話にならないようにしなければいけない。

（平成25年7月 記）

文 及川 洋一



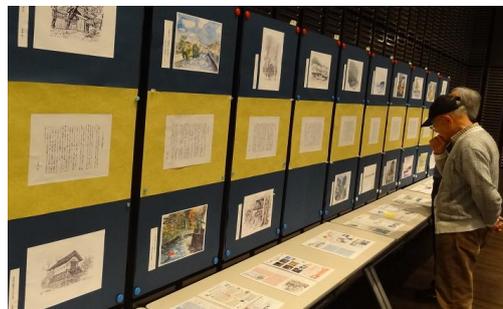
「通学風景」 及川 洋一

## 景観の祭典！ 景観シンポジウムのご報告☆

景観シンポジウムが平成25年10月19日に逗子文化プラザホールで開催されました。

第一部では、当瓦版の発行に多大なご協力をいただいている、NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会により、カルチャーフォーラム座談会がさざなみホールで行われました。

座談会では、「瓦版を通して逗子の景観を考える」をテーマに、瓦版全二十号までの制作に協力いただいた寄稿者が集い、逗子の景観の魅力について語り合いました。同時開催で瓦版のイラストとコラムの展示会も行い、多くの方に来場いただきました。逗子の景観について市民が想いを語り合う、貴重な時間となりました。



第一部  
座談会・展示会

## 逗子ステキ発見！景観フォトコンテスト 受賞作品の発表☆

逗子ステキ発見！景観フォトコンテストは、みなさんのおかげで492作品ものご応募をいただきました。ありがとうございました。平成25年10月19日（土）に開催された景観シンポジウムで表彰されたグランプリ・準グランプリ・市長賞はこちらの作品です！！



**グランプリ**

「夕照の不動碑」 磯貝 高弘



**準グランプリ**

「青に染まる」 小関 香織



**準グランプリ**

「古寺雪景」 渡辺 進作



**市長賞**

「谷戸の里山」 実りの季節を待つ田んぼ」

青木 三男

受賞作品は全部で27作品！

スポンサーの皆さんにはスポンサー賞として個性豊かな賞品をご用意いただきました。期間賞やスポンサー賞は逗子市ホームページやフェイスブックで発表しています！

☆Check it out☆

逗子市ホームページ

[http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/machi/k\\_eikanTop.html](http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/machi/k_eikanTop.html)

フェイスブック

<https://www.facebook.com/zushisuteki>

